

学燈 *gakutou*

【第 8 号】



院生が紹介する「山口大学教職大学院の学校生活」 ～学校実習、ゼミの様子、学外研修～

【教育実践開発コース】

◆◆学校実習◆◆

山口大学教職大学院の教育実践開発コースでは、4月から毎週2日、終日の学校実習が設定されています。4月の早い段階から参加させて頂き、授業とともに学校や学級の運営、指導の様子を長い目で観察・体験ができると感じました。朝礼や授業、給食指導とともに放課後の部活動や職員会議など、学校の一日を体験することで、教職に就く際の楽しさや課題を感じる事ができました。実習校のメンターの先生のご指導のもと、どのように授業を行うか、また指導、言葉掛けをどこでどのように行っていくかなどを学ぶことができました。今後も大学院で学んだことと学校実習を結び付け、実践を行いたいと思います。



◆◆ゼミの様子◆◆

教職大学院では、第一指導教員の先生と研究や実習で学んだことについて話し合いをする時間があります。前田昌平先生の研究室では週に1回、時間を定めて3人の院生が集まる時間を設けています。このゼミの時間には前田先生がテーマを用意してくださり、そのテーマについて話し合います。例えば、4月上旬に「最近の自分の変化」というテーマで話し合いました。この自分の変化と生活の変化、大学の授業、学校実習とを結びつけながら、自分だけでは気づくことができないことを発見することができました。



【学校経営コース】

◆◆学校組織マネジメント探求◆◆

学校経営コース1年の院生が、8月27日（月）～30日（木）の4日間の日程で、茨城県つくば市にある独立行政法人教職員支援機構で行われた「学校組織マネジメント指導者養成研修」に参加しました。講義の中で印象深かったことは、これからの管理職は人間的な魅力で人を惹きつけていくリーダーでなければならないということです。



また、学校を運営していくうえでは、ビジョンを共有することが最も大切であり、そのためには若手も中堅もベテランも、みんなが議論に加わるのが大切だということを改めて実感しました。全国から集まった先生方とグループになり、協力して学校の戦略マップを作成する研修もありました。原籍校の学校組織をマネジメントする視点で参加しました。勤務している学校や地域は違っても、若手の人材育成やビジョンの共有の難しさなどの課題は、どの学校も抱えているということが分かりました。

この研修は、学校組織マネジメントの理論を身に付け、学校の経営に生かすことを目的としたものです。講師の先生方から学んだことや、本研修で経験したことを今後の原籍校での実践に役立てていきたいと思えます。

その後、つくばでの学校組織マネジメント探求研修会の学びの発展授業として、11月8日に「原籍校



等の課題の解決、改善に向けた効果的かつ具体的な改善計画の立案」をテーマにプレゼンテーションを行いました。この授業には、学校経営コースの2年生が、アドバイザーとして参加し、深い学び合いになりました。そのため、研究をすすめていくための方向性が、明確になりました。それぞれの原籍校で、実践していきたいと思えます。

山口大学教職大学院 中間発表会（M1）・成果報告会（M2）

を行いました。院生の研究をたくさんの方々に聞いていただきました！

場所 山口大学 教育学部棟 42・43番教室番教室

中間発表会（M1）

日時 平成31年 1月5日（土）
9：30～13：00

成果報告会（M2）

日時 平成31年 1月26日（土）
9：30～15：50

